

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 めろん 組	4 月 4 日 ( 金 )	小原

● 実施計画

活動テーマ		
サイエンス ～自然～ 公園にある春を調べよう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
日頃、戸外活動が盛んで、草花や木の実を見つけて集めて遊ぶ姿がある。 また、室内活動では、図鑑で調べたり、友達と見せ合ったりする姿がある。		
活動スケジュール		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
9:15～10:00	・朝の会で公園にはどのような春があるか話し合う。  ・どこの公園に行くか話し合う。  ・記念公園に行く。	【環境設定】 ・公園や園庭など、安全に探索できる場所を選定する。 ・公園内のルールを確認する。 ・事前に探索ルートを決め、安全面に配慮する。 ・子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。 ・正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にす。
10:15	・公園到着 ・公園での約束事を確認する。	【活動使用教材】 ・ビニール袋(収集したものを入れる) ・スマートフォン ・植物図鑑 ・散歩リュック ・散歩ケータイ
10:15～10:45	・公園で興味のある生き物や、植物を探す。  ・見つけたものを保育者や友達と共有する。保育者に写真を撮ってもらう。  ・それぞれ好きなものを探し、わかったこと、気づいたことを伝え、会話しながら活動する。  ・持ち帰ることができるものについては、どのように持ち帰るか考える。	【事前準備】 ・植物が多くある公園や場所を選定する。 ・子どもたちが日頃からポケット図鑑に触れる機会を作る。 ・スマートフォンの電池残量を確認しておく。
11:00	・帰園する  ・園に到着  ・記念公園で見つけた春を話し合う	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・導入では「春ですよ」の手遊びを行った。</p> <p>・何色の花が好きかを子どもに問いかけ、実際に見つけると、「ピンクの花あった」と保育者に嬉しそうに伝える姿があった。</p> <p>・公園で見つけた花を保育室に飾った。</p> <p>・園にある図鑑と見比べることも行っていた。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <p>・見つけた花を友達に「○○ちゃん好きそうだからあげる」</p> <p>・「桜の花、一緒に探しにいこう」</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>・「どんな花があるかな」「好きな色の花あるかな」と子どもたちが興味を持てるようにした。</p> <p>・見つけた花を保護者に見せたいと伝えた子に「どうやったら見せられるか」「どんな状態を見せたいのか」を問いかけ、一緒に考えた。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・子どもたちは見つけた花を摘む姿があり、そのまま袋に入れる姿があった。そこから、摘んだら枯れてしまう、水に付けないとどうなるか等の花の成長に関して伝えると「そうなんだ」と興味を持つ姿が見られた。</p>	<p>・普段よく行く公園であったが、「春を見つける」という事をテーマに行くと、いつもとは違う発見ができたように感じた。</p> <p>・子どもの好奇心や探求心を高められるような活動をしていくことが重要である。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 めろん 組	8 月 20 日 ( 水 )	四方 滋美

● 実施計画

活動テーマ		
たべもの ～野菜～ ①野菜って何？		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
給食中に「この野菜美味しい」や「この野菜なんか苦いね」などと子どもたち同士で会話をする姿が多く、夏の野菜や食材について興味を持って様子が見られていた。		
		環境設定 ・ 準備物
時間	内容	
11:00～11:10	<ul style="list-style-type: none"> <li>野菜の種類がどれくらいあるか考える。その後、挙手制で考えを発表する。</li> <li>野菜のイラストを参考に①どんな味か②どんな食感を野菜ごとに発表し、グループごと情報を共有する。</li> <li>野菜の味や食感について知っている事を発表する。</li> <li>食感や味を紙にまとめ、掲示する。</li> </ul>	<p>【環境設定】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>調べたり、興味関心を深めたりできるように、図鑑を活用できる環境を用意する。</li> <li>子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> <li>正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。</li> </ul> <p>【準備物】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>野菜のイラスト</li> <li>ポケット図鑑・図鑑</li> <li>iPad、タブレット、PCなど(保育者が調べるために使用)</li> <li>イラストを貼るためののり、両面テープ</li> <li>掲示用の養生テープ</li> </ul> <p>【事前準備】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが日頃からポケット図鑑に触れる機会を作る。</li> <li>夏野菜に興味関心が持てるよう、育てている夏野菜の振り返りや水やりをする。</li> </ul>

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちは野菜の食感や味を思い出しながら、その考えを言葉で表現しようとしていた。</li> <li>友だちの意見に共感する姿が見られた。</li> </ul>	<p>【子どもの姿・声】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>「人参は生は固くて苦いけど、温めると甘くなるから好き」「玉ねぎとゴーヤは苦手」などと、食感や好き嫌いを友だちに共有していた。</li> <li>友だちの発表を聞き「あ～確かに。」「一緒！」という共感や気づきの発言もあった。</li> </ul> <p>【保育者との関わり】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが「野菜の味」に興味を持っていたことから、「身近な野菜」を意識できるような問いかけを心がけた。</li> <li>自分の予想を友だちに共有しやすい環境を整え、一人ひとりの表現を認めていった。</li> </ul>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<ul style="list-style-type: none"> <li>今回の活動を通じて、身近な野菜を関連付けて考えることで、子どもたちの記憶力や表現力が育まれていることを実感した。</li> <li>友だちと情報を共有し、それぞれの記憶や発見を言葉で表現することで、コミュニケーション能力や協調性も同時に育まれていた。</li> <li>また、自分たちの野菜への興味関心が深まり、給食への意欲も高まっている様子が見られた。</li> </ul>	<p>身近な野菜というテーマで、子どもたちもとても親しみやすそうに活動している様子がとても良かった。</p> <p>普段の食育活動以外にもこういった食育の活動も食べることに関する興味関心が深まる為、今後も取り入れていけたらと感じた。</p>

実施クラス	実施日	実施保育者名
5 歳児 めろん 組	10 月 10 日 ( 金 )	四方 滋美

## ● 実施計画

活動テーマ		環境設定・準備物
アート ～色のふしぎ～ ①色について知ろう		
活動テーマに関する 日頃の興味関心について		
7, 8月の水遊び中に色水をペットボトルに入れて遊んだり、涼しくなったら公園で色鬼をして遊んでいる。10月から個人用の絵の具を使い始めた事で、色や色の混ざり方に興味持ち、自分で実験してみようとする姿が多く見られるようになっている。		
時間	内容	環境設定・準備物
前日 10:00～	<ul style="list-style-type: none"> <li>公園で色鬼をする。</li> <li>自然物や固定遊具などの色に触れながら、ゲームを楽しむ。</li> </ul>	<b>【環境設定】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>子どもたちが自由に発言できる雰囲気を作る。</li> <li>正解を求めるのではなく、予想し考える態度を大切にする。</li> <li>正解へと誘導しないよう留意する。</li> </ul>
10:30～10:35	<ul style="list-style-type: none"> <li>好きな色を聞く。</li> <li>どんな色があるか聞く。</li> </ul>	<b>【準備物】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>食べる事に関する絵本</li> <li>画用紙</li> <li>ホワイトボード</li> <li>ホワイトボードマーカー</li> <li>クレヨン</li> <li>暖色、寒色、中間色が書かれた用紙</li> </ul>
10:35～10:45	<ul style="list-style-type: none"> <li>暖色、寒色、中間色について説明する。</li> <li>暖色、寒色、中間色の用紙を配布し、①暖かい色②寒い色を聞いてみる。</li> </ul>	<b>【事前準備】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>色鬼をする。</li> <li>水についての絵本を設置。</li> <li>画用紙をはがきサイズに切り、色見本カードを作成。</li> </ul>
10:45～11:15	<ul style="list-style-type: none"> <li>画用紙をクレヨンで配布し、〇〇色を使わずに〇〇色を作る実験をする。</li> <li>①紫を使わずに紫を作る。</li> <li>②2色使ってオレンジを作る。</li> <li>③2色使って水色を作る。</li> <li>④2色使って黄緑を作る。</li> <li>⑤3色使って茶色を作る。</li> <li>⑥何色使えば黒はできる？</li> <li>⑦白を使わずに白はできる？</li> <li>実験を重ねていく中で、こすると色が変化することに気づき、友だちに共有する。</li> </ul>	
11:15～11:25	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分の画用紙で混ぜたクレヨンを、指でこすってみる。</li> </ul>	

● 実施報告

探究活動の実践内容	活動中の子どもの姿、声、保育者との関わり
<p>・友だちの意見に耳を傾けたり、自分の意見を挙手をして伝えたりしようとする。</p> <p>・自分の知っている知識や気づき、発見を友だちに教えようとする。</p> <p>・2, 3色を混ぜると何色に変化するかについて興味を持ち、探求心を持つ。</p>	<p>【子どもの姿・声】</p> <p>・「茶色を作るには何色が必要か」などの問いに対して、答えを知っている子はすぐ答えを大きな声でみんなに伝えようとする。探求心がある子はいろんな色を使って何度も繰り返しやってみようとする。すぐ答えを知ろうと知っている子に聞いたりする。などさまざまな姿が見られた。</p> <p>【保育者との関わり】</p> <p>・答えを知っている子が、答えを言ってしまっていたため、探求心がある子が、調べる前に答えを知ってしまい、言い合いになることがあったため、大きな声で言うのではなく、すぐに教えてほしい子は知っている子にこっそり聞きにいこう促し、自分で調べたい子への配慮を行った。</p>

● 振り返り

保育者側の気付き	園長からの感想・助言内容
<p>・子どものつばやきを拾ってあげたいが、拾いきれない事が多くあったため、ホワイトボード等にその時の疑問をメモしておくことができると良かった。</p> <p>・鏡で口の中や目を見ることや呼吸する時の胸のふくらみ方など、実践を多く交えたことで体について興味湧いている様子が見られていた。</p> <p>・看護師が保育室にいたため、消化にかかる時間などを聞いてみるなどすることができた。</p>	<p>・目には見えない臓器などについては意識しないと活動に組み込めないためとても良い活動になったと思う。</p> <p>・子どもたちが興味関心をもって取り組んでいる姿が見られ、テーマから内容まで子どもたちに合わせた活動になっていると感じた。」</p>